

3 福岡県立直方特別支援学校のグランドデザイン

本校には聴覚障がい教育、知的障がい教育、肢体不自由教育を行う三つの教育部門があり、幼稚部から高等部までの子ども達がともに学んでいます。多様な子ども達が、互いの違いを認め、個性を尊重し合いながら、自立に向け、主体的に生きる力を身につける教育を目指します。

■校訓「自立 親愛 協調」（目指す子ども像）

- 自分で考え、進んで取り組む子ども（自立）
- 豊かにかかわり、仲よくする子ども（親愛）
- 違いを認め、力を合わせる子ども（協調）

■本校の将来ビジョン（目指す学校像）

- 幼児児童生徒一人一人を大切にする学校
- 安全・安心な学校
- 地域社会と共生する開かれた学校

■教育目標

幼児児童生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、心豊かな人間性を培うとともに、共生社会の一員として、自分らしく、ともに生きる力を育成する。

■学校運営方針

安全・安心な教育環境のもと、多様な障がいがある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた質の高い指導を行うとともに、保護者や地域と協働し、信頼される開かれた学校づくりをすすめる。

■重点目標

I 一人一人を大切にするために

II 安全・安心に過ごせるように

III 開かれた学校であるために

■具体的な取組

- ① 鍛ほめ福岡メソッドの推進（「少し困難な目標の設定」「安心して取り組める最小限の支援」「達成感を高める賞賛、強化」の実践）
- ② 自己研鑽、校内研修や学校研究の充実をおとした、専門性、指導力の向上
- ③ 教育課程の見直しや授業の改善、個別の指導計画に基づく個に応じた指導の徹底
- ④ ICTに関する理解の深化と効果的な活用
- ⑤ 「自他を大切にし、おかしいと思ったことをおかしいと言える子どもの育成」を目指した人権教育の推進
- ⑥ 自己実現、自立と社会参加に資する、発達段階に応じたキャリア教育の推進
- ⑦ 学校と寄宿舎の連携、協力による寄宿舎教育の充実

- ① 障がいの重度・重複化や多様化に対応した基礎的環境整備、合理的配慮の提供
- ② 状況に応じた感染症拡大防止対策の継続と強化
- ③ 防災計画や危機管理マニュアル、個別の緊急時対応マニュアル等の適宜見直しとそれらに沿った訓練の充実
- ④ ヒヤリハット事例の集積、情報共有による事故等の未然防止
- ⑤ 看護職員や医療機関との連携の強化による、より安全な医療的ケアの実施
- ⑥ 共感的な生徒指導、日常の観察や継続的な指導、家庭との連携等をおとした、いじめや非行等の問題行動の未然防止

- ① 保護者、地域の意見の傾聴、丁寧な説明、合意形成をおとした相互の理解の深化
- ② 学校の状況に応じた学校行事の見直しと行事をおとした地域連携の強化
- ③ 医療、福祉、労働等の機関との連携の強化
- ④ 互いを理解し、認め合うことができる交流及び共同学習の実施
- ⑤ ホームページ等での積極的な情報発信
- ⑥ 地域の特別支援教育の充実、自立を目指したセンター的機能の発揮
- ⑦ 保護者と協働した、持続可能なPTA活動、同窓会活動の推進

各教育部門の目標と各学部が掲げる目指す生徒像

聴覚障がい教育部門

知的障がい教育部門

肢体不自由教育部門

部門の目標

- 個の実態に応じた指導を通して、豊かなコミュニケーション能力や言語力を育成し、自立・社会参加につなげる。
- 幼小中の各学部で連携をとるとともに、聴覚障がい教育に関する専門性を向上させることで指導の充実を図る。

- 児童生徒の人権を尊重し、教育的ニーズに応じた指導と持てる力を最大限に生かすことで、主体的な社会参加と自己実現を図る。
- 小学部から高等部へと系統的で連携の取れた教育活動が実践できるよう、個々の教師の専門性を向上させた教師集団による指導体制の充実を図る。

- 児童生徒の実態に応じた指導を行い、持てる力を最大限に生かして将来の自立と社会参加を図ることのできる力を育成する。
- 小中高の各段階におけるキャリア発達を踏まえた指導を実践するため、教師の肢体不自由教育における専門性の向上と指導体制の充実を図る。

幼稚部

- 豊かなコミュニケーション手段を身に付け、伝え合うことを楽しむ幼児
- 幼稚部の生活や遊びを楽しみながら、友達と仲良く過ごせる幼児
- 基本的な生活習慣を身に付け、自分でできることを自分でやろうとする幼児

- 日常生活に必要な基本的な生活習慣の能力や基礎学力を高め、自己選択や自己決定をして活動できる児童
- 心身の健康の維持・増進を図りながら、集団の中で楽しんで活動できる児童
- 自分の周りの人に関心をもち、集団の中でよりよいかかわり方を考えて活動できる児童。

- 望ましい生活習慣や基礎学力を身に付け、主体的に選択・決定・表現することができる児童
- 思いやりの気持ちをもって、人とよりよいかかわろうとする児童
- 様々な状況に応じて、ものごとを前向きにとらえ、協働する意識をもつことができる児童

小学部

- 基礎学力を身に付け、自ら考え、判断、表現し、主体的に学ぶ児童
- コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的にかかわる児童
- 基本的な生活習慣を身に付け、ルールやマナーを守り、進んで活動する児童
- 自他ともに大切にし、友達と力を合わせて活動する児童

- 日常的、社会生活、職業生活に必要な知識・技能を身に付け、自ら考え、意欲的に行動できる生徒
- さまざまな場面で、相手や目的に応じて工夫しながら、コミュニケーションを取ることができる生徒
- 集団の中で自分の力を最大限に発揮し、周りの人と相互に支え合って活動できる生徒

- 基本的な生活習慣の確立や社会生活に必要な知識・技能の習得に向け、自ら考え行動できる生徒
- 他者からのかかわりを受け止めたり、自分の気持ちや考えを表現したりすることができる生徒
- 互いの違いや良さを認め合い、自他を大切にしようとする生徒

中学部

- 基礎学力を身に付け、主体的に課題解決に取り組む生徒
- 積極的にコミュニケーションを図ることを通して、人間関係を広げようとする生徒
- 自主・自立の精神をもって、何事にも積極的に取り組む生徒
- 自己を肯定的に捉え、他者と協調しながら活動する生徒

- 社会生活及び、職業生活に必要な知識やマナーを身に付け、技能を高めることができる生徒
- 自ら援助依頼ができ、場面に応じた適切なコミュニケーションを取ることができる生徒
- 主体的に社会にかかわることができ、自己肯定感を高め、他者を思いやることができる生徒

- 生活的、社会的自立に向けて、必要な知識、技能を身に付け、自己選択・自己決定・自己実現できる生徒
- 主体的に人とかかわることができ、適切なコミュニケーションをとることのできる生徒
- 理想とする生き方・在り方に向けて、自己理解を深め、自己の良さを生かし社会参加のできる生徒

高等部

特別支援教育のセンター的機能 (地域への相談支援)

寄宿舎

訪問教育

- 通常学級に在籍する聴覚障がい等を有する児童生徒への通級による指導
- 就学前児の育ちにかかわる保護者からの相談対応
- 学校生活や学習等に不安をいだく方からの相談対応
- 本人や保護者、学校関係者の相談に応じた助言や検査、研修会等の案内、具体的指導の支援

- 寄宿舎の日課に沿う規則正しい生活を通じた日常生活の支援と自立に向けた指導
- 自治会活動を通じた、協調性や主体性の育成
- 余暇の有効活用を目的とした日常の活動や行事による社会性の育成
- 食、健康、安全に係る支援と指導

- 障がいや重度・重複して学校への通学が困難な児童生徒、及び病気等様々な理由で学校に通学できない児童生徒を対象とし、教員が家庭や施設に訪問して行う教育形態
- 訪問指導に加え、保護者の付き添いのもと児童生徒の体調を考慮しながら実施する学校行事等のスクーリングや通学児童生徒との交流活動